



2023 年度 JANPU-CBT 実証事業 【実証校の追加公募】 募集要項

【名称】2023 年度 JANPU-CBT 実証事業【実証校の追加公募】

3 月 19 日(火)の実施について、追加公募を行います。

2023 年度の JANPU-CBT では、各教育機関に CBT 実施における運用体制・運用の方法・運用実施の時期・管理について検討・評価いただくことを目的としております。

また、学生におかれましても、CBT 受験に必要なコンピュータ操作・媒体へのなれ等、CBT 受験の経験や技術を身に付けていただくために参加していただきたいと考えておりますので、各領域臨地実習前に該当しない場合や未履修の科目がある状況で参加していただいても問題ございません。

下記の主旨をご確認いただき、多くの会員校よりご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

【趣旨】

2021 年度新たな感染症の時代の看護学教育検討特別ワーキングがあげた課題の一つである学生の卒業時の知識・技術・態度の獲得レベルを担保するために、その解決策としての「Student Nurse」制度や参加型臨地実習の実現をあげ、看護学共用試験の導入が検討された。看護学共用試験とは、実習開始前の知識を測定する多肢選択筆記試験(Computer Based Testing :CBT)と技術・態度習得水準を評価する客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination: OSCE)である。これを受け、昨年度は、MEXCBT 環境下での運用可能性を検討する目的で、会員校の 1 割程度(15-30 校)を対象として「2022 年度 JANPU-CBT 実証事業(試行版)」を実施した。

「2023 年 JANPU-CBT 実証事業」では、2022 年度、運営上の課題となった環境整備や組織体制構築、学生の CBT 受験への習熟などを検討するため、実証校の公募を、会員校の 3 割程度に増やし、より多くの会員校に CBT 実施に向けた運営上の環境整備や組織体制構築(人・物・金・技術・時間・情報・運用課題の検討)など CBT の実施・運営について評価を得ていただき、看護学教育における CBT 導入推進を目的とする。看護学教育における参加型臨地実習の実現に向けた CBT 導入および MEXCBT システム上の課題抽出および文部科学省への要望の示唆を得る。

【目的】

- ・各教育機関が、CBT 運用の体制・運用の方法・運用実施の時期・管理についての検討を行う。
- ・看護学教育における参加型臨地実習の実現に向けた CBT 導入および、看護学教育では参加型臨地実習の実現にむけ MEXCBT システムの課題抽出及び文科省への要望の示唆を得る。

【対象校・対象者】

JANPU 会員・看護系大学の各領域臨地実習前の学生 (想定:3 年前期・後期セメスタ直前の学生)

【実証時期:JANPU-CBT 実施日】

「2024年 3 月 19 日(火)」(10 時開始 16 時終了予定)

【参加方法】

会員校は、下記参加条件①-⑫を確認し、対象者・実施時期を検討したうえで、本用紙の参加申し込み URL または QR コードから、参加登録期日までに参加登録を行う。申し込みは会員校単位で受け付ける。なお、各実証校の対象学生は同学年、同一実施日とする(複数学年・複数日に受験することはできない)。

注) JANPU-CBT 実証事業は、任意で協力を求めるものである。参加の有無が今後の JANPU との関係に利益、不利益が生じることはない。会員校は参加学年の不利益にならないように十分な説明と同意のもとでの参加をお願いする。

【管理運用】

- JANPU は 2023 年度 JANPU-CBT 実証事業の「2023 年度 JANPU-CBT 実証事業 実施要項」(以下、実施要項とする)と「2023 年度 JANPU-CBT 実証事業 学生用マニュアル」(以下、学生用マニュアルとする)を作成し、実証校に電子媒体で事前配布(実施の 1 か月前頃予定)する。
- 2023 年度 JANPU-CBT 実証事業へ参加申し込み、実証校に決定した各実証校は実証校責任者を置き、配布された資料に基づき、各実証校における管理運用を実施する。

【2023 年度 JANPU-CBT 実証事業 参加条件】* 下記①-⑫を満たすことを事前に確認する。

- ① 上記 JANPU-CBT 実施日のいずれかに参加できる。複数回・複数日受験はできない。
- ② 実証校として決定後、各実証校に JANPU-CBT 実施本部よりアカウントを配布する。JANPU-CBT 実施本部は、学生の個人情報扱わない(学生の個人情報は入力しない)。各実証校で学生 ID と氏名などの紐づけが必要な場合は、各実証校でデータを管理する。
- ③ 対象学生(領域実習時期前とし、early exposure などの体験実習は含まない)の原則全員参加が見込める。ただし、JANPU-CBT 実証事業の目的や、各実証校の多様な環境等を鑑み、学生の参加人数については、各実証校が設定し申請可能とする。どの時期の学生が妥当であるかの検討・判断は各実証校がカリキュラムに基づき実施する。
- ④ 対象学生の ICT 媒体を準備できる(個人所有の ICT 端末も使用可能)。2023 年度 JANPU-CBT はインターネットブラウザを使用する。OS の指定はないが「Microsoft Edge」、「Apple Safari」、「Google Chrome」のいずれかに接続できるように準備する(「Internet Explorer」は非対応)。問題形式は、5 選択肢/多選択肢/順次解答4連問5選択一形式である。設問が十分に閲覧できる媒体はタブレットもしくは PC であるため、これらを満たす ICT 媒体が確保できることを事前に確認する(スマートフォン画面サイズには対応していない)。
- ⑤ 対象学生と教職員の ICT スキルを確認できる。各実証校責任者や試験監督の教職員や学生が、ICT を用いた試験や確認テスト、アンケートなどを実施した経験がある(回答者としての経験がある)。なお、実証校責任者については上記条件を満たす者が担当する。
- ⑥ JANPU-CBT 実施にあたり、事前に指定する MEXCBT を用いた動作確認を各実証校で実施する。
- ⑦ 各実証校は教室(試験会場)と実施体制と試験監督を準備できる。対面実施のため各実証校で実施体制を準備する(各実証校の参加学生に応じた実施体制)。
- ⑧ インターネット環境を準備できる。1 端末あたり 0.35 Mbps~0.5Mbps の帯域が必要となる。画像を利用した問題を再生する場合には、環境により動作が遅くなる可能性がある(試験時間に影響する可能性がある)。インターネット通信料は各自負担となる。インターネット環境は学生人数に対応できる教室を準備する(必要時、教室の定員数の半数になどネットワークや学内サーバーへの負荷を抑える)。
- ⑨ ICT 媒体の準備・保守管理は CBT 管理運用各実証校責任者が行う。
- ⑩ JANPU-CBT 実施本部は、各実証校の ICT 媒体・インターネット・ICT スキル・実施体制・教室(試験会場)などの不具合などに関する対応は行わない。各実証校での対応となる。
- ⑪ 2023 年度 JANPU-CBT 実証事業の公正な準備と運用のために、遵守事項を確認の上、「実施要項」と「学生用マニュアル」に基づき実施できる。
- ⑫ 各実証校責任者、各実証校監督者、参加学生は下記を提出できる
 - i 各実証校責任者は「参加申し込み(各実証校)」「実証校としての遵守事項の同意」「予定最大受験者数」「事前動作確認報告書」「2023 年度 JANPU-CBT 各実証校終了後報告書」を提出できる。



一般社団法人

日本看護系大学協議会

JANPU : Japan Association of Nursing Programs in Universities

- ii 各実証校監督者は、「2023 年度 JANPU-CBT の守秘等(学生以外の関係者)」「2023 年度 JANPU-CBT 各実証校監督者・関係報告書」提出できる。
- iii 参加学生は、「学生終了後アンケート」「2023 年度 JANPU-CBT の守秘等に関する説明と同意」を当日提出できる。

【CBT 媒体】

文部科学省総合教育政策局教育 DX 推進室の「MEXCBT・実証用学習 e ポータル」を使用する。

<https://support2.mexcbt.mext.go.jp/>

【参加申し込み】

下記 URL もしくは右記 QR コードの Google フォームより回答する。

<https://forms.gle/AjQLcAoZ4VKGDjmv9>



【参加登録の期日】 2023 年 9 月 11 日(月)～11 月 10 日(金)

【参加校の決定】

本参加登録は申込制とし、JANPU が参加申し込みした会員校から選出し、実証校を決定する。実証校は国公立、ブロック別の配分を考慮し、11 月下旬に決定を行い、参加申し込みした会員校に実証校としての結果を周知する。

【問い合わせ先】

下記 URL もしくは右記 QR コードの Google フォームよりお問い合わせください。

<https://forms.gle/ayqty3DzFUMZr7tr6>

JANPU 看護実践能力評価基準検討委員会

E-mail cbt@janpu.or.jp TEL: 03-6206-9451



一般社団法人 日本看護系大学協議会

看護実践能力評価基準検討委員会 委員長

荒木暁子